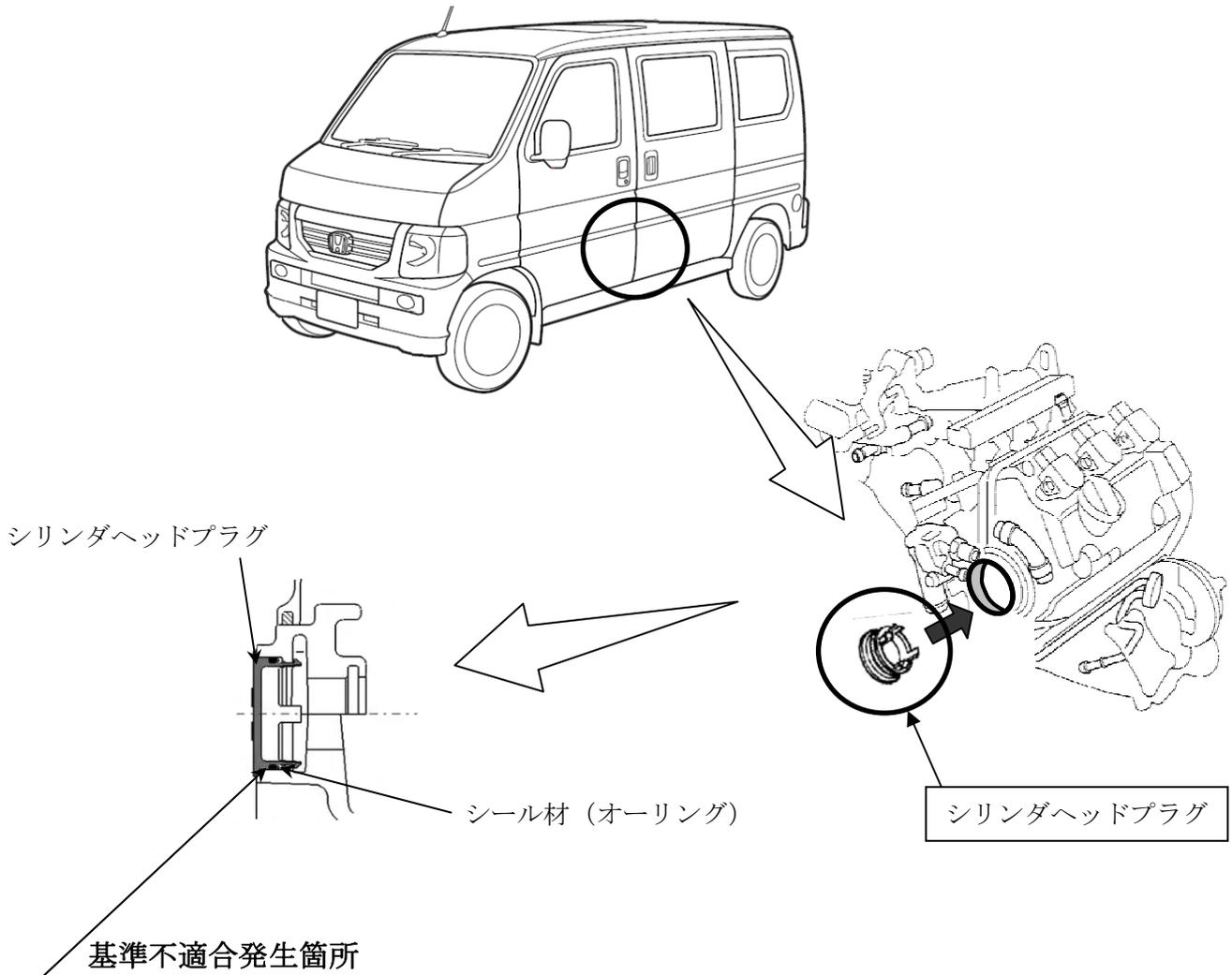


改善箇所説明図



冷機時の長時間暖機運転や短距離走行の使用頻度が高い車両において、ブローバイガスの凝縮結露でエンジンオイルに水分が混ざり、長期の使用過程でシリンダヘッドプラグのシール材表面が吸水して加水分解すると硬化し、シール性が低下してエンジンオイルが滲むことがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、滲み出たオイルが排気管カバー内に溜まり、発煙・発火するおそれがある。

改善の内容

全車両、シリンダヘッドプラグを対策品と交換する。

注： は交換部品を示す。

識別：右フロントドア ドアチェッカー上側ボルト頭部に黄色ペイントを塗布する。